

# きずな

## 部会だより

### 広報部

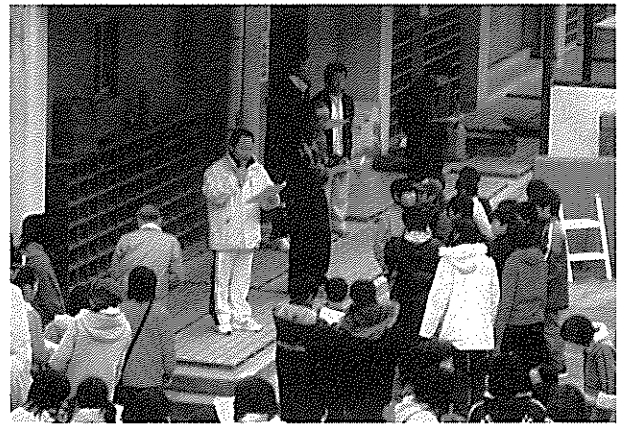
副部長 田中 あき子

学校週5日制となりましたが、今の子供たちは、平日は塾、遊びはモニター画面を見ながらのことが多く、親子のふれあいすら少なくなっているようです。豊浜地区家推協では世代を超えたふれあい、地域でのふれあい活動を中心に、これからの時代を担う子供たちの心の成長を願い、活動を続けています。私たち広報部ではこれら各部の活動を誰にでも親しめるように「見る広報紙」として、地区の行事、町の様子も交えて紹介してまいりました。編集作業は広報部員により行いますが、これらの記事は地域にお住まいの方々の手によるものです。今後地域の皆さんの御協力を頂き、家庭と地域を結ぶ広報紙であるよう願っています。



### ふれあい活動部

副部長 平山 康雄



豊浜地区家庭教育推進協議会として活動を始め、5年が過ぎようとしています。「青少年の育成に、豊浜地区全ての人が関心をもち、人々が一体となって教育環境を整備し、青少年の健全育成を図ることを活動の目的としています。ふれあい活動部では、子供からおじいちゃん、おばあちゃんまで、三世代のふれあいを活動の方針とし、今年度も「グラウンドゴルフ大会」「夏休み一斉ラジオ体操」「ふれあい歩け歩け大会」を開催しました。今後も楽しい行事を考えていきますので、ぜひ参加してください。

### 教育環境部

副部長 柳 敏雄



登校する小学生たちに「おはよう」と声をかけると、高学年になるほどちゃんと挨拶を返してくれます。中学生になるとこちらより先に「おはようございます」と言ってくれます。そんな彼らを見ると、とても頼もしい気がしてきます。— そうだよ、挨拶は社会生活の第一歩、挨拶さえきちんとしておけば、とりあえずはどこでも生きていける、知らない土地だって、海に向こうの国だって同じだからね—  
そんなことを思いながら少し大人っぽく見える子どもたちの姿を見送っています。



1月19日(日)三世代ふれあい歩け歩け大会が開催され、309名が参加しました。豊浜小学校をスタートし、約7kmの道のりをチェックポイントでゲームを楽しみ、自然を満喫しながら歩きました。

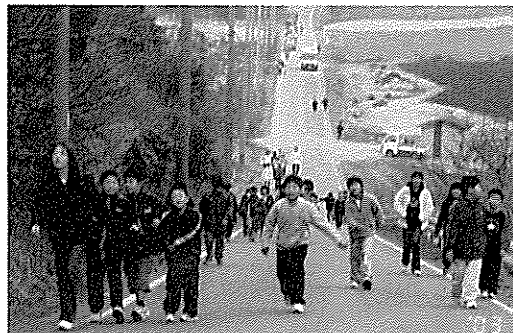
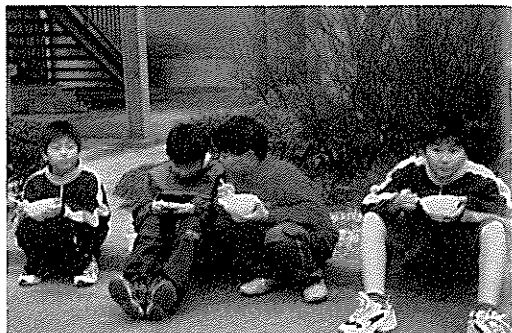
たのしかったよ!  
歩け歩け  
大会



クリーン作戦

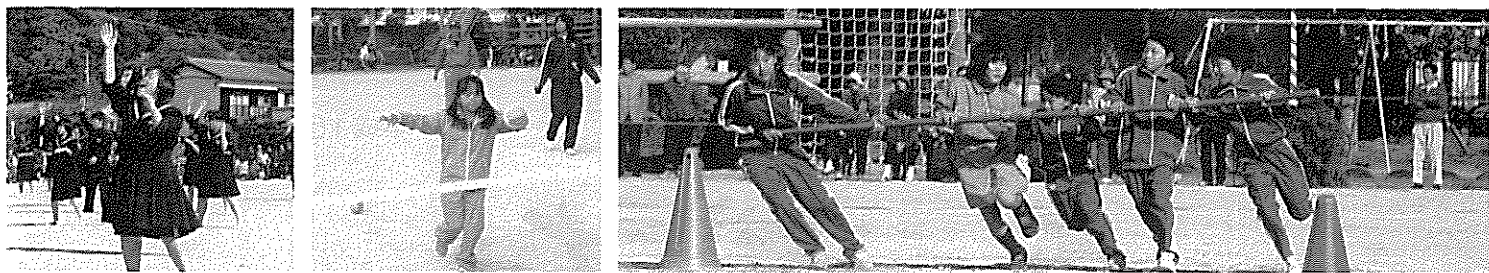
### 編集後記

変わらず続く暗い世相の中でも、明るい話題、ワールドカップ日本代表の活躍や、日本人初のノーベル賞ダブル受賞と、暗い気分を吹き飛ばすようなニュースもありました。  
家推協の活動の中でも、子供達に夢と希望・豊かな心を育むお手伝いができれば、幸いです。又家推協を通して地域社会のつながりをより大事にしていきたくいと願っています。  
地域の皆様には、御指導と御協力を頂き本当にありがとうございます。





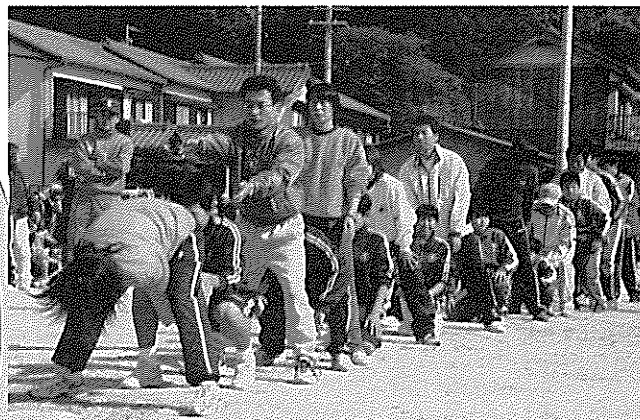
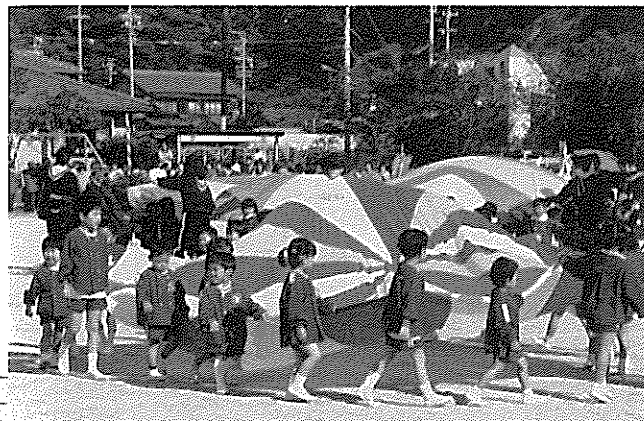
# わが町・わ



## 町民体育祭に参加して

中洲保育所長 竹内 恵

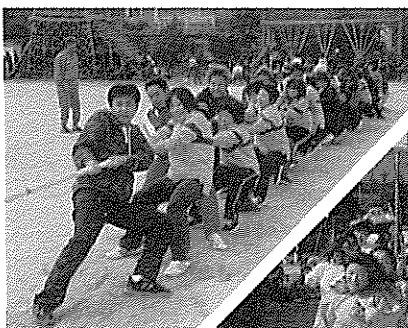
風の強い中、学校、家庭、地域で盛り上げた体育祭。激しく変化する現代社会の中で、これほど三世代があふればかりの声援と笑顔、そして何より高齢者の方たちのなごむ心に出会えたことに、あらためて豊浜地域に住む人々の結びつきのすばらしさ、それはまさしく「きずな」そのものと実感しました。わが町の二十三人のちびっ子が大きなバルーンを使って、はきれんばかりにパッと花開いた時、中洲保育所として今年最後の舞台と思うと、目がしらが熱くなりました。たくさんの思い出し子等の心に残ると信じます。



## みんなで参加した体育祭

豊丘 岡田 百合子

昨年中止になった町民体育祭も、今年は晴天に恵まれ、盛大に行う事が出来ました。  
我が家は、三男が音遊に初挑戦。大勢の人が見ていたので、緊張した様子が、とても印象的でした。音遊が終わり感想を聞くと、「もっとやりたかった。」と言って体育祭の雰囲気を楽しんでいる様でした。競技種目が違うものの、家族みんなが参加する事ができた我が家にとって、心に残る体育祭になりました。  
また、各地域が一丸となって、どの種目も、一生懸命取り組む姿は、団結力の強さと、頼もしさを実感しました。



## 晴れた町民体育祭

東部青年 山本喜生

去年、町民体育祭は雨が降ってしまつてせっかく練習した大縄跳びや東部の毎年恒例の応援が台無しになってしまいましたが、今年はすこしいい天気でした。そして今年毎日練習した大縄跳びでは96回と新記録を出すことができ、応援は、青年団全員で踊ったりしてすこく楽しかったです。僕達のウォーターボーイズの応援もあり見事に小佐東部は、また優勝することができました。  
これからもこの町民体育祭をずっと続けていき、元気いっぱい豊浜であつてほしいです。本当によい思い出になりました。



## 孫

区長会長 石黒 福和

我家は九十四才のおふくろを筆頭に小学生の男女の孫まで四世代七人家族で、毎日が二人の孫を中心に動いています。  
子供夫婦は共働きで我々夫婦が孫と接する時間が長く、演歌の「孫」の様に可愛がっています。その為今一根性が欠ける様です。  
しかし心の優しい子に育っており、年老いた私のおふくろを大切にします。そんな時の会話を聞く時、孫の優しさが身にしみえます。  
家族がお互いを思いやり絆を大切にすれば、何世代でも同居はいいものだと思います。



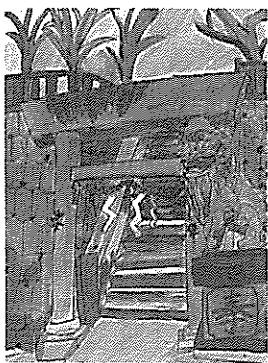
## 万葉の古道を訪ねて — 6年「私たちの町」写生より —

六年生の園工「私たちの町」の学習で、写生をしました。豊浜小の校長室の南側には大きな万葉歌碑があります。遠方からたくさんの方が、年に何度も見学にきます。  
六年生は、昨年十一月に、荒磯松から半月の田増寺までの神社、寺、旧家など二十近くを見学し、豊浜の歴史に詳しい相川成三さんから説明を聞きました。そして、自分で場所を選んで、みんなで写生しました。また、総合的な学習の中でも詳しく調べています。

### 万葉歌碑 絵(山本紗代)



### 須男神社 絵(山下真里)



### 私の大石様

豊浜小六年 坂田 明美

私は今、大石様について調べています。また、それは別に万葉の古道でも、大石様に会いました。調べて見る大石様と、万葉の古道の大石様はちがうように見えました。調べている時は調べる目で見えていましたが、万葉の古道の時は、豊浜の文化を見る目で見えていました。大石様はただの石のように見えますが、私は由来を見た時、豊浜のかくれた歴史なのだと思います。私にとつての大石様は、豊浜のかくれた歴史をもち、また、万葉の古道の文化だと思いました。

### 万葉の古道を歩いて

豊浜小六年担任 畑中 さとみ

「万葉の道」、豊浜のどこにそんな古い道があるのだろうと思つたら、実は、子どもたちと一緒に何度も歩いてきた道であった。歩き慣れたその道を、今度は、地蔵、石、神社と、一つ一つの由来を聞きながら歩いた。どの場所にも、古き時代の人々の思いや願いが込められている。見慣れたもの、見過ごしていたものが新鮮に目に映った。  
万葉の道を通るとき、昔と今がつかぬ。忙しい日々の中で、ちよつと足を止め、万葉人の気分浸ってみるのもいいかな。

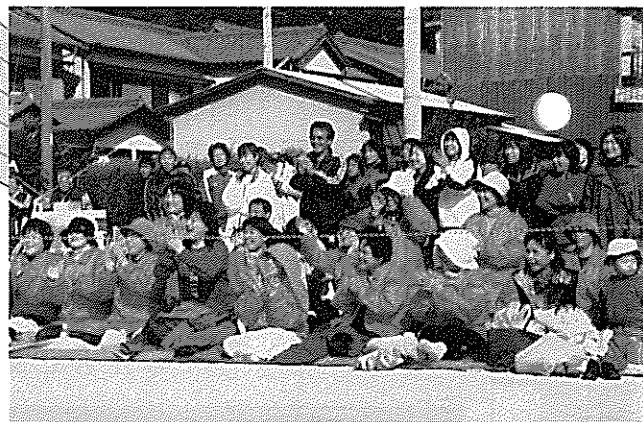


町民体育祭に参加して  
初神 山本秋光

少し冷やかな風の中、秋天清爽に恵まれ、豊浜地区体育祭が本年も盛大に開催されました。例年のように老人会も出場種目「紅白玉入れ」があり、喜びと誇りを持って参加させて頂きました。日頃から運動不足になりがちながら私達も楽しみながら自分の健康を考える絶好のチャンスだと思い、今日一日は伸び伸びと体を動かし、地域の方々との親睦を深め、若い人とも和気あいあいと語りあい過ごすことが出来ました。毎年大会関係者の方々は、大変ご苦労さんですが、今後共お力添えを、お願いします。



# 町民体育祭

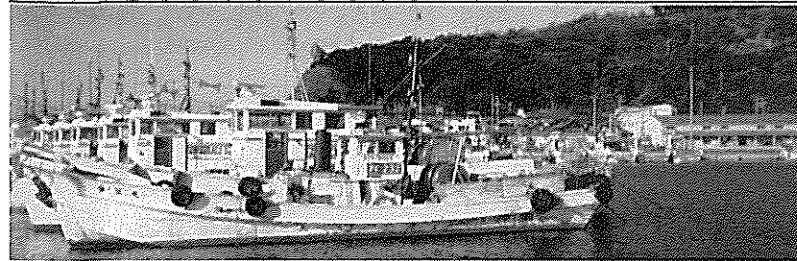


町民体育祭に参加して  
豊浜小六年 神谷真実

十一月三日に豊浜体育祭がありました。私はガールスカウトに入っているので入場の時にプラカードをもっていました。左側に六年男子がならんでいたのですが、右側には女子がいました。ラジオ体操が終わった後、タイムアップだったので急いで着がえました。上の服は着ていたけど、下半身は着がえなくて、時間がかかりました。タイムアップは右端だったので、「まっぴー」と思いながら走り抜けました。私達は4位でした。おせいけど3位までの人が応援してくれました。来年からは出られないけど、小学生を応援します。

# 家が

豊浜の町のこと・  
豊浜でがんばっている人・  
すてきな家族を紹介します。



## 郷土のはなし



南知多町教育指導員  
磯部宅成

### 千賀家由来と須佐の城

千賀氏は、室町時代末期、志摩国的矢湾北岸の千賀(現在の鳥羽市)に居城していた。当時織田と北畠が対立していた。千賀氏は北畠配下として、織田側の九鬼と戦ったが敗れて、尾張国知多半島南端の師崎に逃れた。

天正十八年、関東の雄北条氏の滅亡にともない、徳川家康が江戸に国替となった。この時、千賀重親も家康の招きに応じて師崎を後にした。関白秀吉の死後、関ヶ原の合戦が起こり、西軍について九鬼嘉隆の軍勢と知多半島を舞台に戦った。千賀氏は、様々な神経作戦を用いて戦い、九鬼を追放した。そして、懐かしい師崎に戻った。慶長十二年初代尾張藩主義直によって、御船方、鯨方奉行に任ぜられ、知行も千五百石が与えられた。

千賀家歴代の墓地は、正衆寺にある。また、千賀家ゆかりの品々は、寺宝として保存されている。千賀氏は、初め須佐に城を構えていたという説がある。古文書に

千賀氏、其先南紀熊野ヨリ出、須佐ノ城ニ住居ス、今其城正衆寺ノ東方ニ有リ、城山ト呼、島ヲ城ノ腰ト云」とある。もし石垣の一つでも見付けることができれば、豊浜の歴史にいま一つ光彩を放つことになる。



千賀家の墓(正衆寺)

豊浜の中洲在住で郷土研究をしてみえます

## ありがとう... おまわりさん

長年、中洲保育所の交通安全教室「ひまわりクラブ」で子供達に事故の怖さや飛び出しの危険性等ご指導頂きました。ある時は、お化け屋敷のお化け役になってくれたおまわりさん(孤田さん)は、子供達の人気者です。孤田さんは、子供達が事故に遭わない様に、クラブで習った事を忘れないでほしいと願っています。この思いも子供達に伝わっている事でしよう。

地元の人々との交流も深くとても中洲人らしい孤田さん、鯛祭り大好きな孤田さん...ありがと。



# ふれあい広場



親子運動会 かるも保育所

冬の日に

あるけあるけで  
あせながし

中村 石井ふくま

友だちと

歩く山みち  
楽しいな

豊浜小6年 相川 侑也

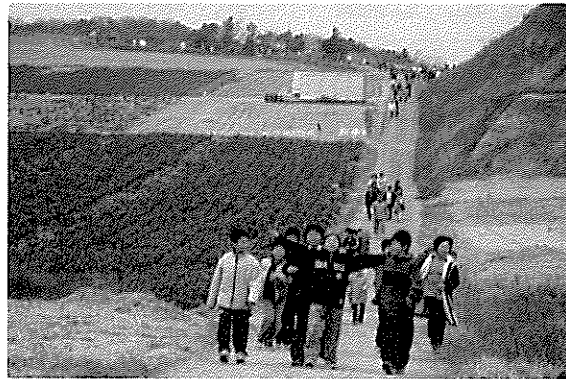
楽しかった秋まつり

豊浜小児童会会長 六年 山本大輔

みんなで準備した秋祭りは大成功でした。この祭りは、去年から始まって今年で2回目です。お家の人たちがたくさん来てくれていました。ほくは、開会宣言や秋祭りの見所の劇などをやる係で、前の日はあまり寝つけませんでした。がんばって練習したかいあって、成功しました。すごくうれしくなって、ほつとして気がぬけてしまいました。

ほくたちのお化け屋敷は、大はんじょうでした。ほくは入ってすぐの場所でおどかさ役でした。最初はおどろいてくれませんでした。だから寝ころんでおどかさことにしました。

秋祭りが豊小の伝統になるとうれしいです。



## 楽しかった歩け歩け大会

豊浜小4年 植田真由

私は、一月十九日に歩け歩け大会に行きました。友達といっしょに歩きました。

第一地点では、土を百グラム紙に入れました。私は八十グラムでした。第二地点では、はい句を作りました。私は「きれいだな 緑の山は、いい景色」にしました。第三地点では紙ヒコキを作りました。第四地点でじゃんけんをし、ゴールの学校まで走りました。

七kmも歩くので大変だったけどみんなでいっしょに歩いたので、あまりつかれませんでした。また、来年も参加したいと思います。

## 歩くことのよさ

家推協副会長 吉村 勇

「みち」は私達の生活全てにおいて、とても大切です。普段道路のことは考えてもみないものです。「ここにこんな道がある。」と思い、わがまちにある道のありがたさを知る良い機会が歩け歩け大会です。歩くことは、健康的なものとより、その時々にか良いことが待っている様に見える。それが三世代だから、なお楽しい。お喋りをしながら、道沿いの草花に会い、空を仰いで、うまい空気をいっぱい吸って歩けることのありがたさと幸せを感じるのです。

この大会がいつまでも愛され続けられるよう願うものです。



## 私達が望むきれいな町

小佐区長 田中節雄

今年もクリーン作戦が、私共、小佐地区でも、子供さんからお年寄りの方までの多数の参加を頂き、盛大に行なわれました。

参加して思った事ですが、人目に付く場所には、空き缶等は少なくりましたが、奥まった所にはまだ沢山のゴミ等が、捨てられています。そして、このゴミを競い合う様に集めてくれる子供達の姿を見て、大変うれしく思いました。

この様な体験を、日頃から地域の皆さんが心掛けて下されば、近い将来、私達が望むきれいな町になる事と信じています。



## クリーン作戦に参加して

豊浜中3年 山下輝彦

気持ちよく目が覚めた。今日は、クリーン作戦の日だ。すぐに気づき、朝食をとった後、両手に軍手をはめ、約束をしていた友達を呼んで現場へ向かった。そこにはもう人がたくさんいて、作業を始めていた。僕は埋め立て地の一番ゴミの落ちていた所に行った。思った通り、ゴミがたくさんあって、いつもより多く落ちていた気がした。早速ゴミを拾い始めたが、大型のゴミが多く、袋に入らず運ぶのが困難だった。

やはり、豊浜にはまだまだゴミが多くあり、すべてを拾い切れないのが現状だ。



## ブックアップタイム

豊丘小6年 飯田恵美

今年から、ブックアップタイムという「読書の時間」が始まりました。月に一回だけですごく楽しみにしています。いつもだと借りに来ない人もブックアップタイムの前には、本を借りに来てくれて図書委員の私にはうれしいです。

そして、ブックアップタイムの日、その時間は、学校中が、しーんと静かです。でもそれだけみんなが真剣に読んでいるんだなあと感じます。

それから、ブックアップタイムには、読み聞かせも時々あります。高学年が低学年に読んであげたり、ブックアップママさんたちが読んでくれたりします。低学年に読む時は、すごく緊張します。ブックアップママさんの読み聞かせは、やっぱり上手です。本の楽しさやおもしろさもいっぱい発見できていいなあと感じます。

